

連載 登録医のご紹介

ベルランド総合病院広報誌「ベルフォーラム」

Bell Forum

地域と職員とともに栄えるチーム

医療最前線

市民公開講座

2017
Summer
No.56

TOPICS

新部長・新入職医師 紹介
堺市北消防署より感謝状が贈られました
平成28年 実績報告
泉北耳鼻咽喉科セミナー 開催
堺市5病院 座談会 開催

市民公開講座

ベルランド総合病院は、市民の皆様を対象に健康に対する啓発活動に取り組んでいます



写真:第5回市民公開講座『臨死体験』

当院は平成 23 年から毎年、市民の皆様を対象に健康に対する啓発活動に取り組んでまいりました。演題名としては、第 1 回子宮頸がん予防、第 2 回前立腺がん、放射線と放射能、第 3 回乳がん、第 4 回肺がん、第 5 回臨死体験、第 6 回狭心症と心筋梗塞、お腹の動脈瘤いつ手術するの？ 第 7 回寝たきり NO! 折れない身体をつくるコツ、骨を強くするために何をどう食べるか、でした。演者の先生はそれぞれの道で実績のある方ばかりであり、現役の大学教授から当院の部長クラスの前立腺がんの専門家です。第 3 回はタレントのアグネスチャンさんを招いて泉ヶ丘のビックアイで行われ、参加者は 600 名を超えましたが、平均 400 名程度参加をいただいています。

直近は今年の 2 月 18 日に堺市の東文化会館で行われましたが、寒くてお忙しい土曜の午後にもかかわらず、おかげさまで 465 名の参加者を得て、会場に入りきれない方を別室でモニター画面を見ていただくなどして対応し大盛況でした。講演とは別に、健康やがんに対しての相談コーナーを設けたり、骨密度や肺や血管年齢を測定したりするコーナーも設けたりと、参加された方は思い思いに有意義な 2 時間を過ごされておられました。

今後も、当院として微力ながら市民の皆様健康に対する意識を高めていただき、元気で長生きできる社会に貢献できるよう努めてまいります。何かご意見などありましたら遠慮なくお聞かせいただき、参考にさせていただければと思います。

第7回市民公開講座『骨』

参加者：465 名



- 『寝たきり NO!』 副院長 倉都 滋之
- 『折れない身体をつくるコツ』 骨粗鬆症マネージャー 運動器認定理学療法士 田中 暢一
- 『骨を強くするために、何をどう食べるか』 栄養管理室 室長 正木 美由紀



講演会終了後、普段疑問に思っていることや、毎日の過ごし方などについて、市民の方から直接、ご質問をいただきました。メモを取られる方もおられ、健康に対する市民の方々の関心の高さがうかがえました



講演会終了後、骨粗鬆症で薬を始める目安がわかるサイトの紹介や、骨健康度の測定コーナー、身長測定コーナーなど行いました

第6回市民公開講座『狭心症と心筋梗塞』

参加者：244 名



心臓エコーについて臨床検査技師より解説しました

第5回市民公開講座『臨死体験』

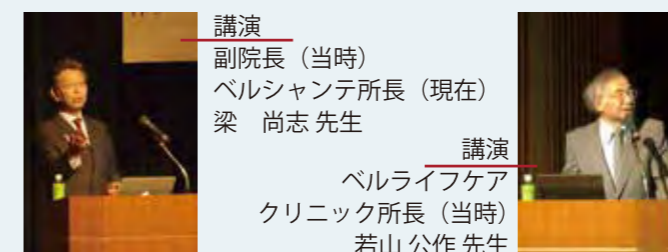
参加者：325 名



AED 体験コーナーを用意。救急救命士が、レクチャーしました

第4回市民公開講座『肺がん』

参加者：285 名



講演 副院長 (当時) ベルシャンテ所長 (現在) 梁 尚志先生

講演 ベルライフケアクリニック所長 (当時) 若山 公作先生

第3回市民公開講座『乳がん』

参加者：606 名

講演 乳腺外科 副部長 山崎 圭一 (現:緩和ケア科 部長)

特別講演

「明るくさわやかに生きる～アグネスが見つめたいのち～」



ご自身の体験談を織り交ぜながらとてもさわやかにお話いただき市民の方々含めスタッフ一同も元気をもらいました

第2回市民公開講座『前立腺がん』

参加者：361 名

講演 大阪市大泌尿器科 教授 仲谷 達也 先生

第1回市民公開講座『子宮頸がん予防』

参加者：427 名

講演 婦人科 山崎 正人

新部長 紹介



緩和ケア科 部長 山崎 圭一

日本緩和医療学会：専門医・代議員
日本外科学会：外科専門医・認定医
日本肝臓学会：専門医
日本消化器外科学会：消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構：がん治療認定医
日本サイコオンコロジー学会：代議員
近畿外科学会：評議員

(資格多数のため、一部抜粋)

【略歴】

- 平成 10年 国立滋賀医科大学医学部 卒業
- 平成 11年 大阪市立総合医療センター 外科
- 平成 12年 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学
- 平成 16年 市立藤井寺市民病院 外科
大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学
医学博士取得
- 平成 20年 ベルランド総合病院 乳腺外科
- 平成 23年 ベルランド総合病院 乳腺外科 副部長
- 平成 29年 ベルランド総合病院 緩和ケア科部長



病理診断科 部長 米田 玄一郎

日本病理学会：専門医、学術評議員、
研修指導医
日本臨床細胞学会：細胞診専門医
日本内科学会：認定内科医
死体解剖資格

【略歴】

- 平成 9年 私立関西医科大学医学部 卒業
- 平成 9年 奈良県立医科大学附属病院
- 平成 15年 私立東海大学医学部 病理診断学講座
奈良県立医科大学大学院医学研究科修了
- 平成 19年 大阪大学医学部附属病院 病理部
大阪府立成人病センター 病理細胞診断科
- 平成 21年 市立堺病院 病理研究科 副医長
- 平成 23年 労働者健康福祉機構大阪労災病院 病理診断科副部長
- 平成 24年 ベルランド総合病院 病理診断科副部長
- 平成 29年 ベルランド総合病院 病理診断科部長

新入職医師 紹介



循環器内科



かわい けいすけ
河合 慶介
平成 20年卒

日本内科学会：認定内科医



なかつじ たかし
中辻 誉
平成 21年卒

日本循環器学会：認定循環器専門医
日本内科学会：認定医
日本心血管インターベンション治療学会：認定医
日本心臓リハビリテーション学会：指導士



たに けんいち
谷 賢一
平成 26年卒

神経内科・脳卒中センター



とくもと かずき
徳元 一樹
平成 9年卒

日本神経学会：専門医・指導医
日本内科学会：認定内科医
日本脳卒中学会：専門医
日本内科学会：総合内科専門医

呼吸器内科



さかみ かずき
阪上 和樹
平成 24年卒

日本内科学会：認定内科医



やまね けんし
山根 健志
平成 27年卒

消化器内科



まつだ たくや
松田 卓也
平成 25年卒

内分泌・代謝科



はら ともゆき
原 知之
平成 27年卒

整形外科



あたらし ゆうすけ
新子 祐介
平成 26年卒



いくた まさと
生田 雅人
平成 27年卒

呼吸器外科



まつだ ゆみ
松田 由美
平成 26年卒

外科



つちはし ひろし
土橋 洋史
平成 10年卒
日本外科学会：専門医
日本消化器外科学会：専門医、
消化器がん外科治療認定医

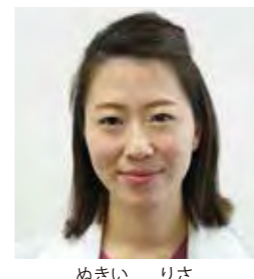
乳腺センター



たなか よしひと
田中 義人
平成 14年卒

日本形成外科学会：専門医

産婦人科



ぬきい りさ
貫井 李沙
平成 22年卒

日本産科婦人科学会：
産婦人科専門医



ぶん みちこ
文 美智子
平成 27年卒

小児科



ひらの あいこ
平野 藍子
平成 23年卒

麻酔科



おくだ ちえ
奥田 千愛
平成 25年卒

病理診断科



いわもと まさのり
岩本 督徳
平成 25年卒

放射線診断科



ほんじょうたかし
本条 隆
平成 26年卒

平成 29年 4月 1日
部長 2名 昇進。
医師 26名 (うち初期臨床研修医 7名)
入職。
今後ともどうぞ
よろしく願いたします。

初期臨床研修医 紹介



こにし くにひこ
小西 邦彦



そね ざつき
曾根 さつき



ながお むねひで
長尾 宗英



ながの しんのすけ
永野 慎之介



はやし りえ
林 理恵



ほりぐち なおみ
堀口 直美



しみず かずき
清水 一貴

登録医のご紹介

にしじま さとし にしじまクリニック 西島 誠聡 先生

泌尿器科



星座：おうし座 血液型：O型
 趣味：日帰り温泉めぐり、子どもと釣り、
 タイガースの応援
 住所：大阪府堺市東区北野田 894-1
 TEL：072-237-8858

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
16:30～19:00	●	●	●	/	●	/

休診日：日・祝

Q. 医師を目指した動機は？

工学部在学中は、抗癌剤の基となる物質の生成をおこなっていましたが、作成よりもむしろ使用する方に興味がわいたことがまず最初。また、この時期に祖父の死を経験して、人の死はこんな感じでおわってしまっているのかと感じたことが、再度医学部への受験のきっかけかな？

Q. 診察の際に心がけている事は？

初診時には自己紹介をすること。患者さんが何を求めて当院を受診しているのかを考えて治療内容を決めていくようにしています。また、治療方針をしっかりと説明すること（どこまでできているのかはわかりませんが…）

Q. 地域医療について

泌尿器科なので、カテーテルの交換は当然の如く、在宅でやっています。また、癌末期の患者さんの緩和ケア、看取りを含め、皆様のご希望に沿うようにやっております。それ以外でも、訪問診療のご希望があればやっていますが、一人でやりますので、できる範囲でホソボソとやっています。

Q. ベルランド総合病院への希望・要望

泌尿器科の先生方には、結石や癌の精査・加療などいつも大変お世話になっております。また、画像診断など他科の先生にも無理なお願いを申し上げており恐縮です。これからもよろしくお願ひ申し上げます。

Q. 最後に一言お願いいたします

当院は、泌尿器科を標榜しておりますが、透析専門医でもありますので腎機能や血圧などに関してご相談いただくことも多いです。おしつこのことだけでなく、何か気になることがあればご相談下さい。

新規登録医 登録件数 389 件 H29.3.28 現在

北区	赤星神経内科クリニック あかほし まこと 赤星 真琴 先生
北区	なかもつこのころのクリニック よしふじ さとし 吉藤 諭 先生
北区	中川整形外科クリニック なかかわ いさお 中川 伊佐夫先生
南区	あかざわ小児科 あかざわ ひでき 赤澤 英樹 先生

医療従事者向け セミナー

6月15日(木)	第5回泉北循環器連携フォーラム ホテル・アゴラリージェンシー堺
6月24日(土)	第17回堺・泉北呼吸器カンファレンス ベルランド総合病院 AIF ホール
6月26日(月)	Belland Rehabilitation Seminar ベルランド総合病院 AIF ホール
7月22日(土)	第12回泉北地区病診連携皮膚科の会 ホテル・アゴラリージェンシー堺

第27回 ベルランド健康塾 一般向け セミナー

皮膚の
できもの
の
ほおっておいて大丈夫？ の

講師 形成外科 部長
てい さとし
鄭 聡柄 先生

場所 ベルランド総合病院
地下1階AIFホール

5/10 水
14:30～15:00

ご予約は不要です。直接お越しください。
お問い合わせ 地域医療連携室 TEL：072-234-2001(代)

Topics

2017年2月18日 『南大阪血管疾患セミナー』を開催しました

講演1：「心血管イベントを防ぐための高血圧治療戦略」
 ベルランド総合病院 副院長/循環器内科 部長 片岡 亨
 講演2：「腹部大動脈瘤の診断とステントクラフト治療」
 ベルランド総合病院 心臓血管外科 医長 小谷 真介



2017年2月25日 『第5回泉北骨・関節セミナー』を開催しました

基調講演：健康長寿に向けた骨ケア 一来院機会を活用した骨粗鬆症対策
 阪南市民病院 整形外科 副部長 田中 雅博先生
 特別講演：『腱板広範断裂の治療法 関節鏡下腱板断裂手術からリバー型人工関節まで』
 大阪警察病院 整形外科 部長 林田 賢治先生



2017年3月9日 『南大阪内科カンファレンス2017』を開催しました

第1部：「sepsis 診療の変化」
 ベルランド総合病院 呼吸器内科 千葉 玲哉
 「閉塞性動脈硬化症のマネジメント」
 ベルランド総合病院 循環器内科 岡井 主
 第2部：「C型肝炎診療の現状」
 ベルランド総合病院 消化器内科 村田 晃児



2017年3月11日 『第4回泉北地区認知症カンファレンス』を開催しました

一般講演：「本人を知ることから始める認知症ケア ～現状分析を踏まえた看護実践～」
 特別養護老人ホーム ベルファミリア 援護長 谷口 淳子 先生
 特別講演：「生活習慣病と認知症 ～老年医療の立場から～」
 大阪大学医学部 老年内科 竹屋 泰先生



堺市北消防署より感謝状が贈られました

産婦人科
船内 雅史

当院では、生命の危機が迫っている場合や事故現場などには、救急救命士だけでなく医師や看護師が同乗したドクターカーが出勤しており、その場の状況を判断してすぐに治療を開始します。今回は、当院かかりつけの妊婦さんが陣痛で、自宅から動けなくなっているため、産科 Dr と小児科 Dr に出勤要請がかけられました。その方は、骨盤位(逆子)で帝王切開予定でした。最近では特殊な場合を除き、児の安全を考え、どの施設でも骨盤位の経膈分娩は行われておりません。そんな赤ちゃんが生まれそうとのことでした。市の救急隊が先に妊婦さんのいる自宅に到着しました。病院からは我々ドクターカーが発発し、自宅との中間地点で待ち合わせをしました。合流後、すぐに妊婦さんのいる救急車で診察を行ったところ、児の足が出ていました。児の安全を考えると病院での緊急帝王切開が望ましい状態です。



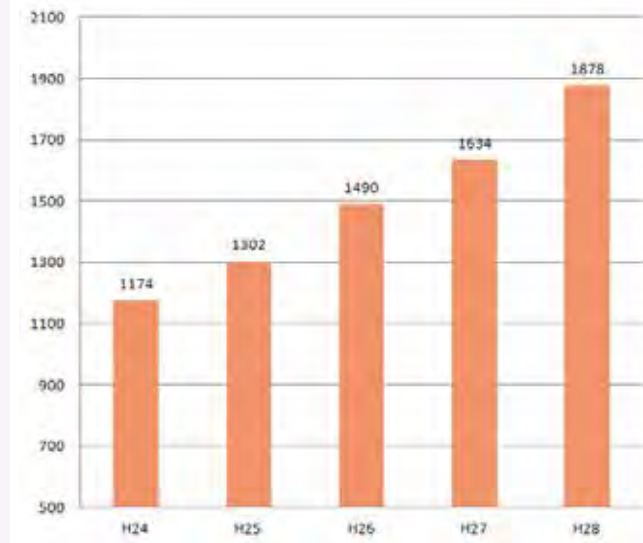
しかし、陣痛発生しており、児が骨盤位のまま分娩しかけていましたので、救急車で児の負担を少なくすることを心がけました。本来は、病院外での分娩は避けたいのですが、自宅分娩(墜落産)という最悪の事態を回避するため、救急隊と連携をとり、中間地点で合流し、チーム医療を上手く働かせ分娩させることができました。
 今後もこのような連携をより強化できるよう、努力してまいります。

平成 28 年 実績報告

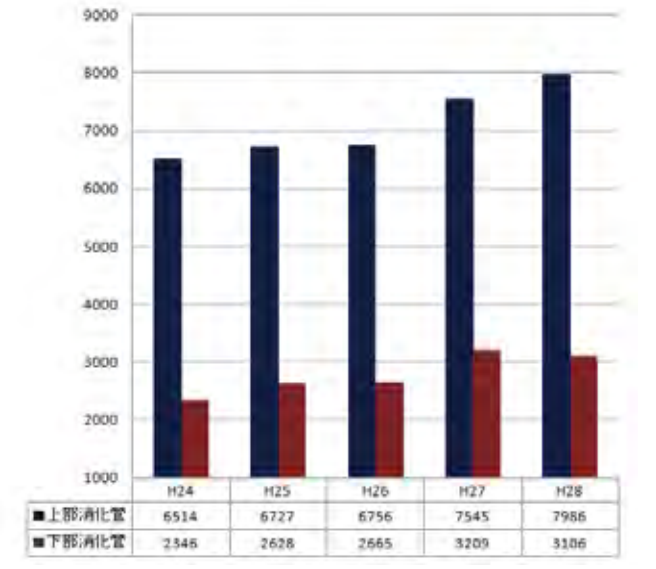
紹介患者・新入院患者数



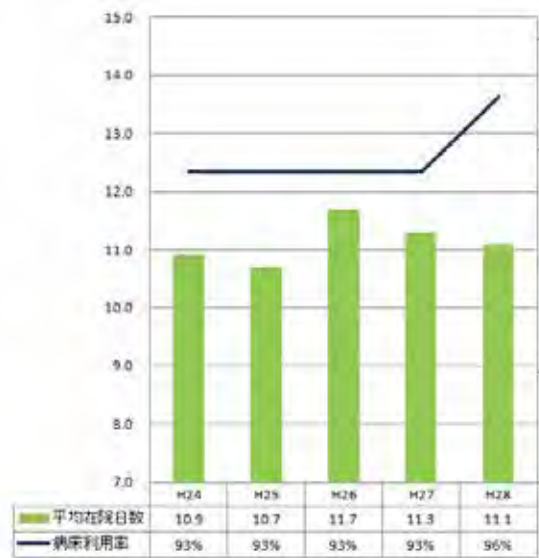
心臓カテーテル件数



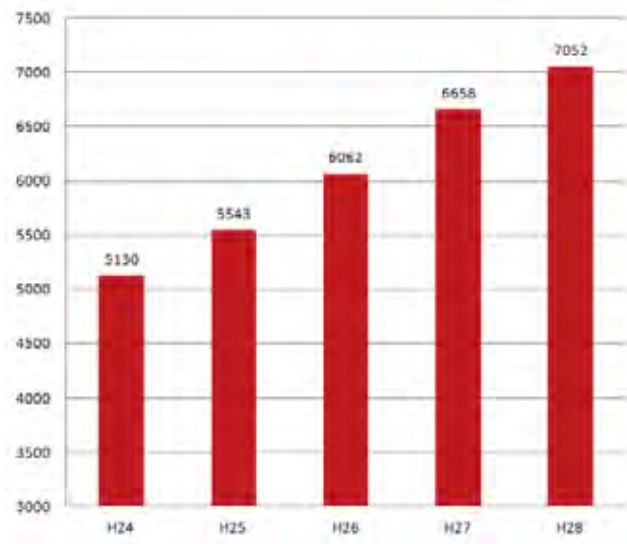
内視鏡検査件数



平均在院日数・病床利用率



救急搬送件数



分娩・OGCS 受け入れ件数



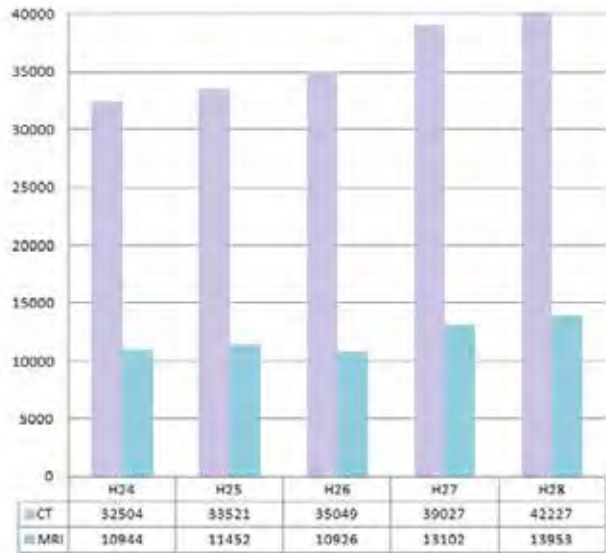
※OGCS とは・・・産婦人科診療相互援助システム。
大阪府下の高次医療を行う施設が協力し、
産婦人科領域の専門的医療を提供しています。

放射線治療照射件数

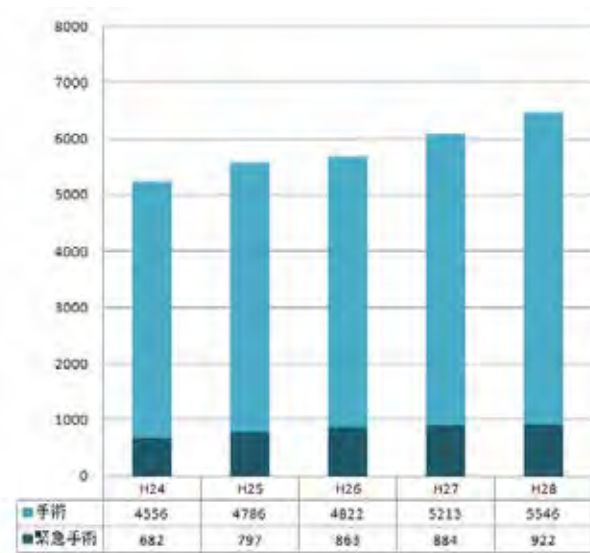


※平成 27 年より強度変調放射線治療 (IMRT) を
開始しています。

CT・MRI 件数



手術・緊急手術件数



ベルランド総合病院は、平成 26 年 9 月に新病院がオープンしました。検査から治療への動線を極力短く設計しており、一刻を争う疾患への対応が可能です。

24 時間 365 日対応のハートコール以外にも、平成 27 年末から脳卒中コールも開始し、がん関連や周産期部門においても安全に配慮した組織形態を構築することにより、特に平成 27 年、28 年の実績が顕著に伸びています。

こうした努力が国から評価され、南大阪で唯一 DPC II 群病院の施設認定を受けました。DPC II 群病院は、大学病院本院に準ずる高機能な病院であり、今後も地域医療の中で高度急性期病院としての責務を果たすべく努力してまいります。



泉北耳鼻咽喉科セミナー2017



本セミナーは平成 26 年 2 月まで年 1 回、『ベルランド耳鼻咽喉科セミナー』を開催していましたが、今回は病院新築後初めて、3 年ぶりに「新基一転」開催となりました。近隣の耳鼻科開業医だけでなく、一般診療医、薬剤師、看護師など大勢の方にご参加いただきました。

セミナー一般演題では、副部長・小泉が「当科における耳科診療」として、難聴、中耳炎、めまい、顔面神経麻痺に対する取り組みを紹介しました。また、部長・中江は「中耳再手術症例」として、耳疾患再手術の注意点・要点を概説しました。

セミナー特別講演では、奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教授兼めまいセンター長の北原紘先生から「奈良医大におけるめまい検査入院の現況」についてお話いただきました。現在、当科は奈良医大関連施設として平成 25 年 4 月から非常勤医、平成 26 年 7 月から常勤医が派遣されています。北原教授には以前に当院研修医に教育講演をしていただきましたが、今回は第 1 回のセミナー講師として招聘しました。



ベルランド総合病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
部長 中江 進



ベルランド総合病院
耳鼻咽喉科・頭頸部外科
副部長 小泉 敏三

奈良県立医科大学
耳鼻咽喉・頭頸部外科教授
兼めまいセンター長
北原 紘 先生



講演ではめまい患者の症例提示から始まりました。最初は原疾患が全く推測できませんでしたが、「検査入院」と称した 13 種類のめまい検査を入院中に一貫して行うことで、謎に包まれた疾患細部が明らかになるプロセスをよく理解できました。この「めまい検査入院」は北原先生が教授着任後に始めた取り組みで、全国大学病院として初めてであり、朝日放送『みんなの家庭の医学』でも放映されました。「めまい検査入院」では、これまで 130 名以上の患者さんが利用し、原因不明のいわゆる「めまい症」と診断された患者さんのほとんどを正しい診断に導かれたそうです。また、その提示症例の原疾患である良性発作性頭位めまい症 (BPPV) についても病態から対策・治療について詳しく解説いただきました。

現在、当科では北原先生ご指導下、メニエール病診断の内耳造影 MRI、耳石器診断の VEMP (前庭誘発筋電位) など行っています。今後も連携を強化し、大学病院並みの医療を提供していきたいと思っております。

堺市 5 病院 座談会

情報誌：Medical Network



「地域を支えるために競争から協調へ」 ～堺市医療圏における医療連携の基礎づくり～

Medical Network (メディカルネットワーク) にて、「地域を支えるために競争から協調へ」～堺市医療圏における医療連携の基礎づくり～と題して、堺市内にあります 5 病院の院長 (堺市立総合医療センター：花房俊昭院長、大阪労災病院：田内潤院長、清恵会病院：北岡治子院長、耳原総合病院：奥村伸二院長、ベルランド総合病院：亀山雅男院長) が出席し、座談会が開催されました。

現在、国が推し進めている医療改革には、病床機能報告制度とリンクした地域医療構想、および地域包括ケアシステムの構築があります。堺市医療圏においては、リハビリ等の「回復期病床」が不足し、「慢性期病床」が過剰になっています。今回、出席した 5 病院はともに「高度急性期」と「急性期」を担っており、不足している回復期病床を担っている病院との病病連携が強く求められています。

こうした状況において、当院は堺市内にあります同系法人のベルピアノ病院との連携を進めてきました。現在、毎月 40 名ほどの患者さんが、在宅への直接退院ではなく、ベルピアノ病院の回復期病床を経由されています。ただ、当院は毎月 1200 名ほどの患者さんが入院し、在院日数が 10 日と短縮しています。高齢者の方々は、併存疾患を持っている場合がほとんどであり、入院時から退院後の療養を想定しながら転院先を決めていく必要があります。そのニーズに答えるため、当院では阪和第二泉北病院や日野病院とも独自の連携パスを作成し、スムーズに転院できるようになりました。

今後とも、地域住民の方々により良い医療・療養環境を提供すべく努力してまいります。

院長 亀山雅男

